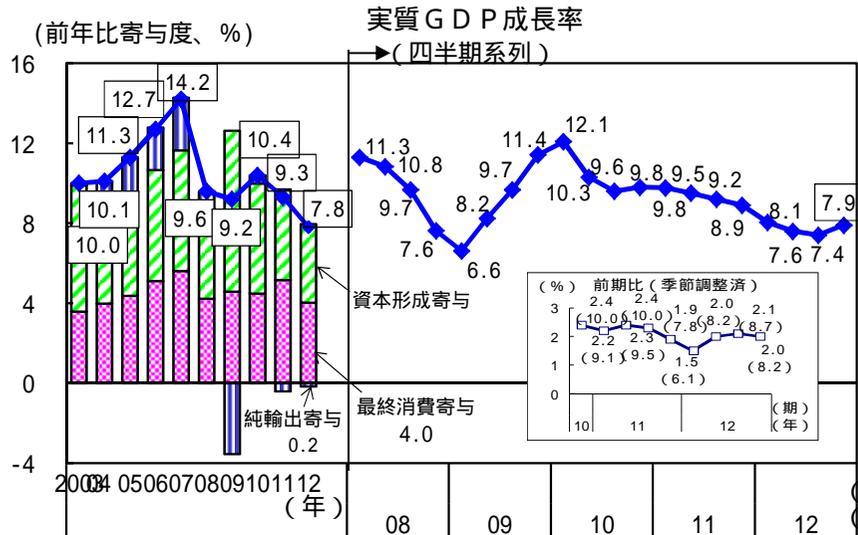


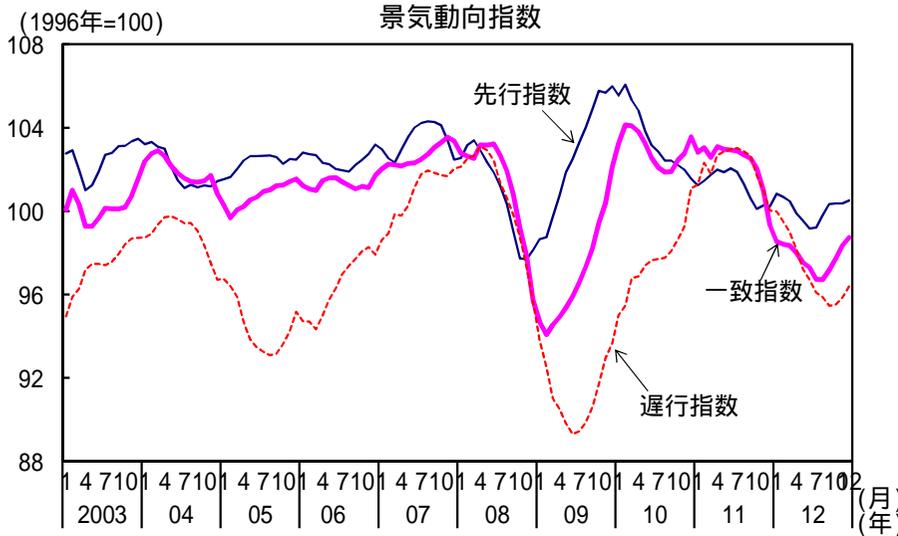
## 2. アジア地域

### 中国：

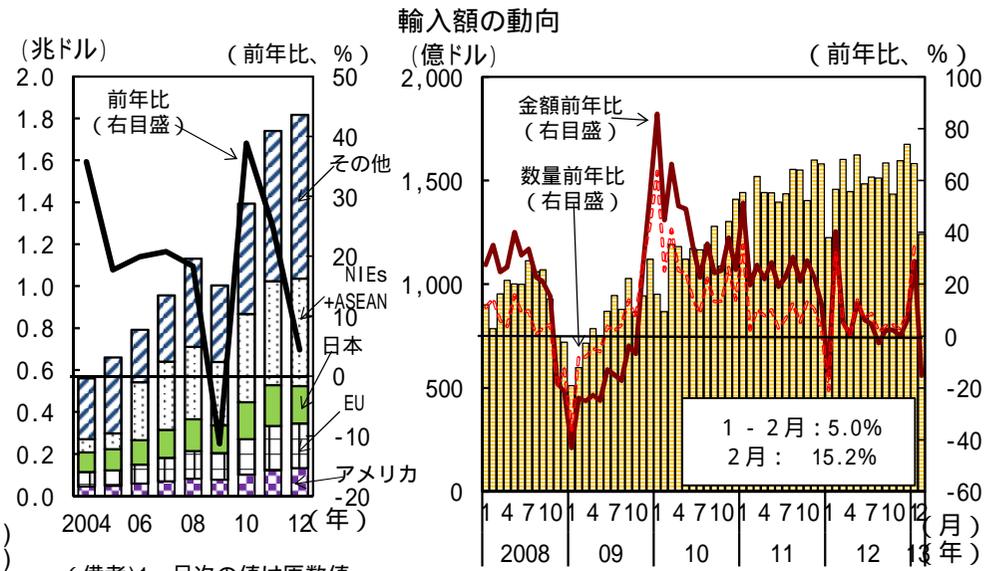
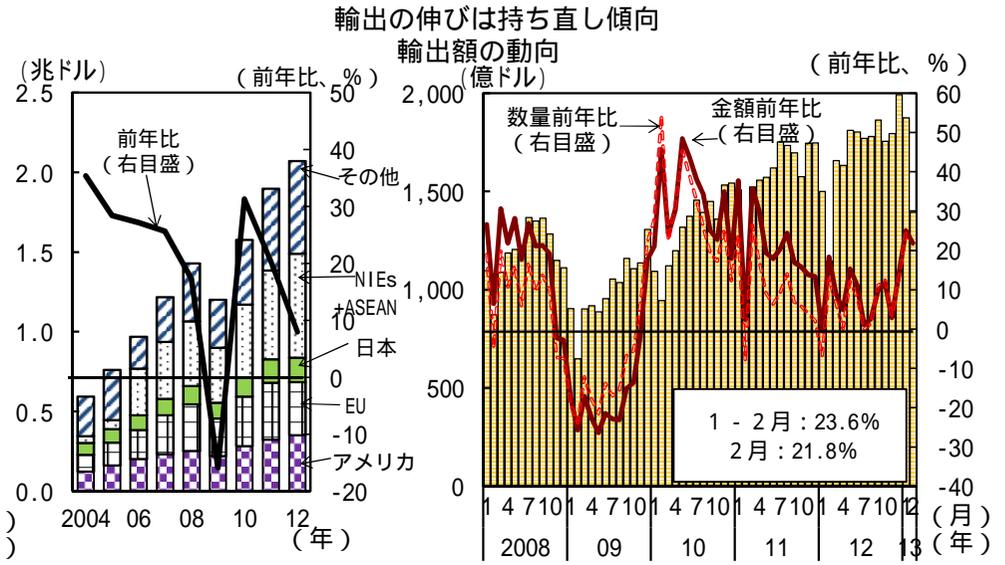
中国では、景気の拡大テンポはやや持ち直している。



(備考) 前期比のグラフの( )内の数値は内閣府試算による前期比年率。



(備考) 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。

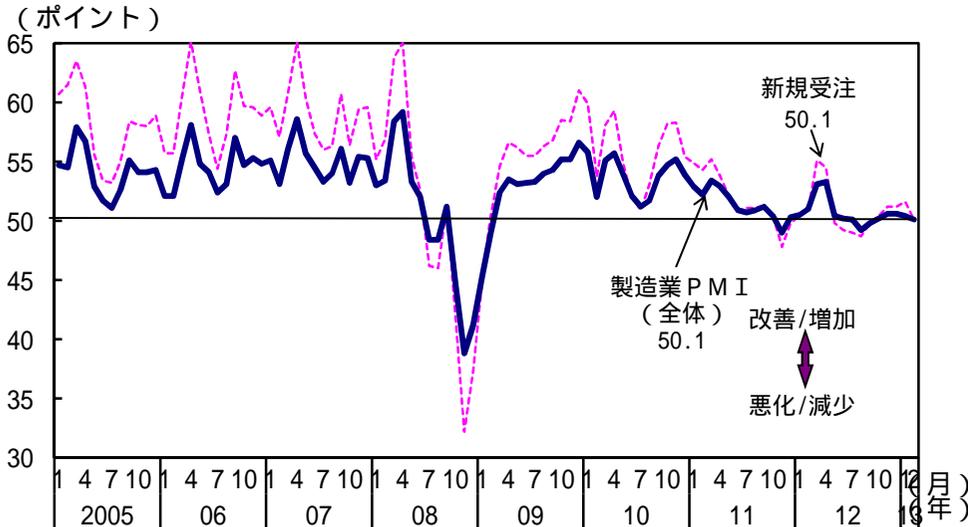


(備考) 1. 月次の値は原数値。

2. 春節(旧正月)休暇は、08年2月6~12日、09年1月25~31日、10年2月13~19日、11年2月2~8日、12年1月22~28日。

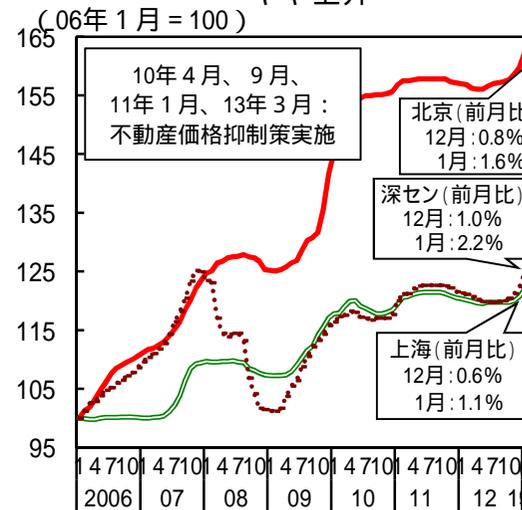


製造業購買担当者指数 (PMI) は持ち直しの動き



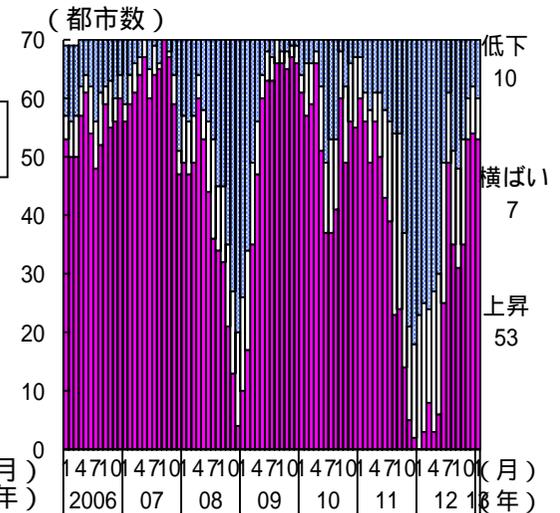
(備考) 1. 製造業PMIは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業PMI(全体)は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の5つの指標から合成される。50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。  
2. 13年1月より、統計対象社数に変更があったため、厳密には13年1月前後では接続しない。

新築住宅販売価格：  
やや上昇

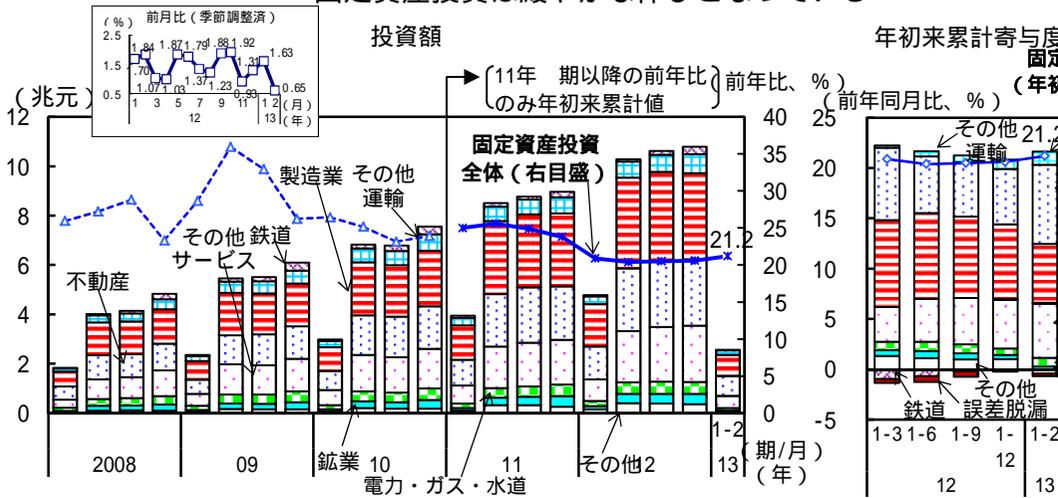


(備考) 1. 価格水準は、06年1月の1㎡当たりの価格を100として指数化。動向は、前月比で、プラスの都市を「上昇」、0.0%の都市を「横ばい」、マイナスの都市を「低下」とした。  
2. 11年1月に基準改定があったため、厳密には11年1月前後で接続しない。なお、全国70都市の平均価格は、11年1月から公表されていない。

動向：大半の都市で上昇

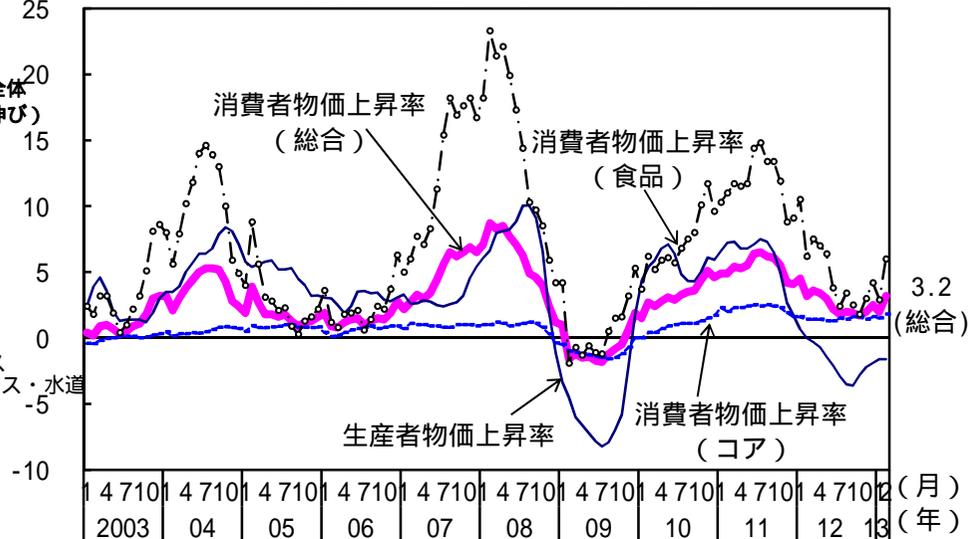


固定資産投資は緩やかな伸びとなっている



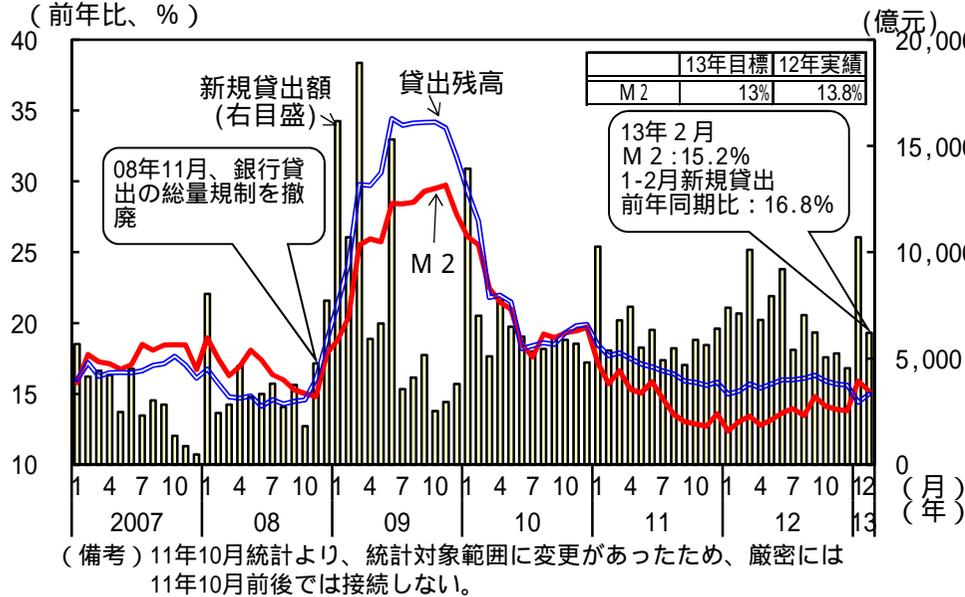
(備考) 1. 11年1-2月期より、統計対象範囲に変更があったため、厳密には11年1-2月前後では接続しない。  
2. 当局は累積額のみ公表。四半期及び単月の値は、内閣府試算。

消費者物価上昇率はおおむね横ばい

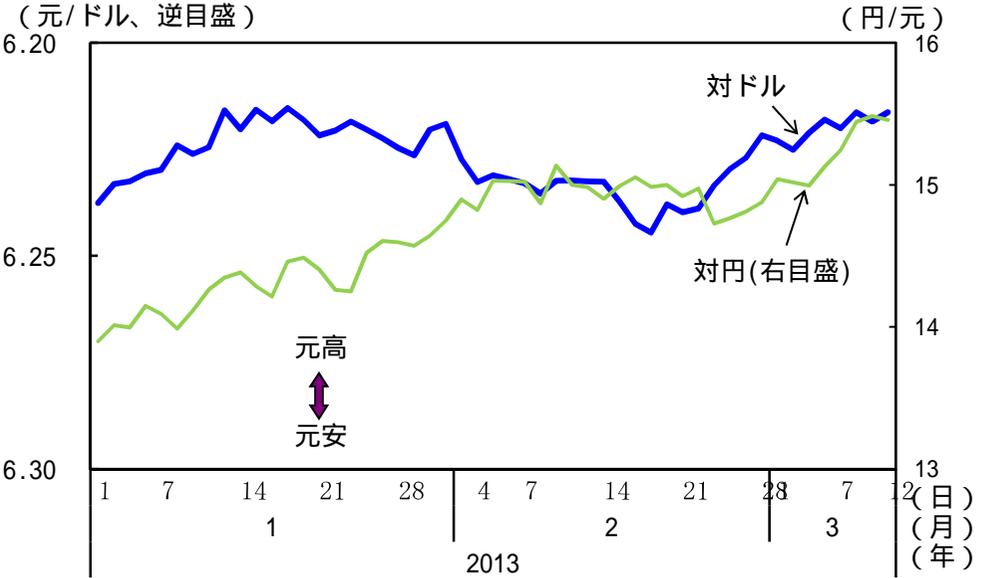


(備考) コア消費者物価は、総合から食品とエネルギーを除いたもの。

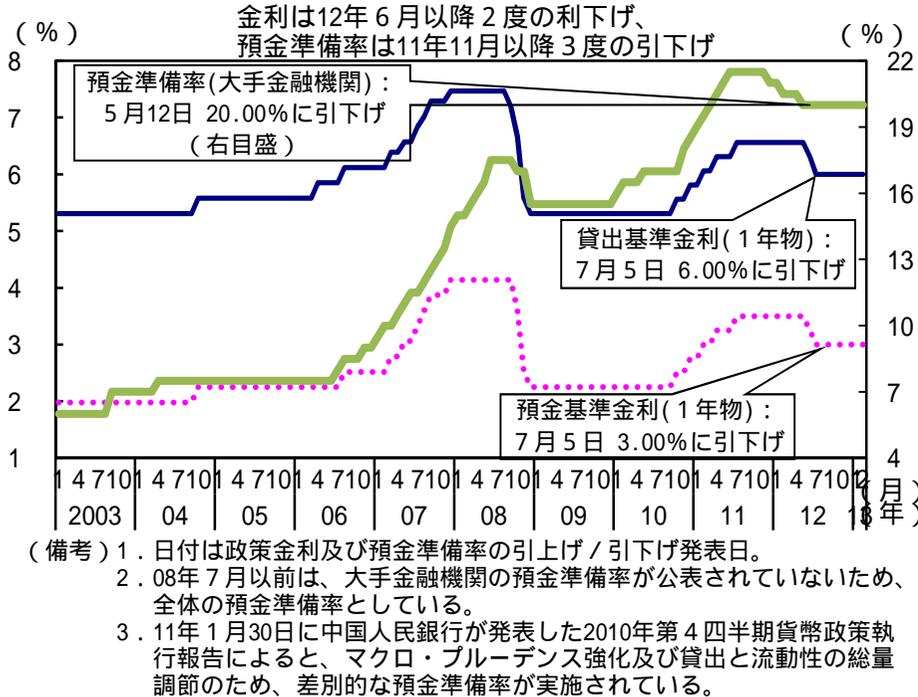
マネーサプライの伸びはやや高まっている



人民元名目為替レート(短期) : おおむね横ばい



金融政策の動向



全国人民代表大会(概要)  
(2013年3月5日~17日)

2013年の主要目標

	13年の目標	12年実績	(12年の目標)
経済成長率	7.5%前後	7.8%	7.5%
都市部 新規就業者	900万人以上	1,266万人	900万人以上
都市部 登録失業率	4.6%以内	4.1%(年末)	4.6%以内
CPI上昇率	3.5%前後	2.60%	4%前後
M2増加率	13%	13.8%(年末)	14%

○2013年政府活動報告の主な内容

- ・「積極的な財政政策」と「穏健な(中立的)金融政策」を引き続き実施
- ・最優先課題は、経済の持続的で健全な発展

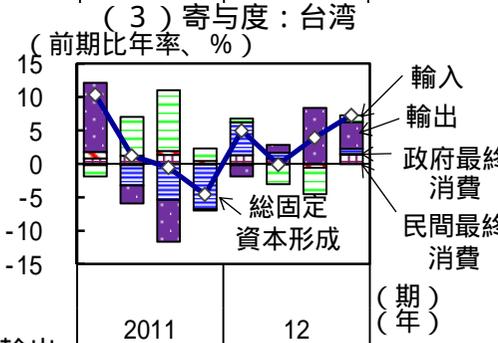
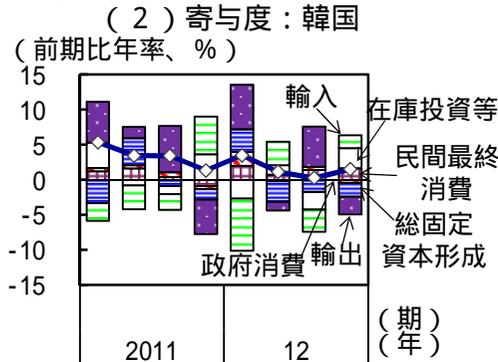
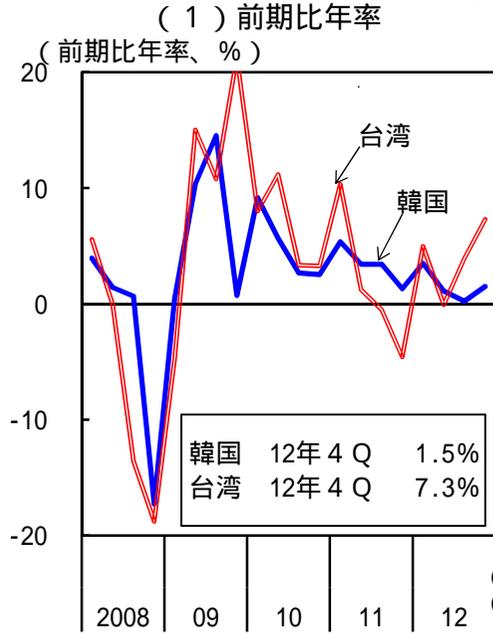
○2013年予算案(中央・地方)

- ・歳入: 12兆6,630億元(約189兆円)(前年実績比8.0%増)
  - ・歳出: 13兆8,246億元(約207兆円)(同10.0%増)
  - ・財政赤字: 1兆2,000億元(約18兆円)(同50.0%増)
- 財政赤字の対GDP比を2.0%前後とする

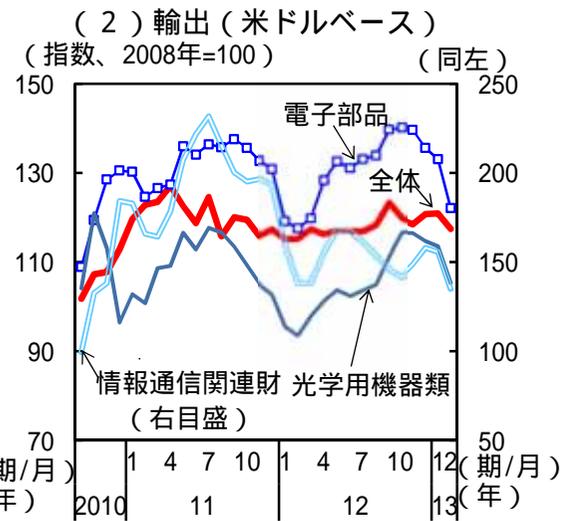
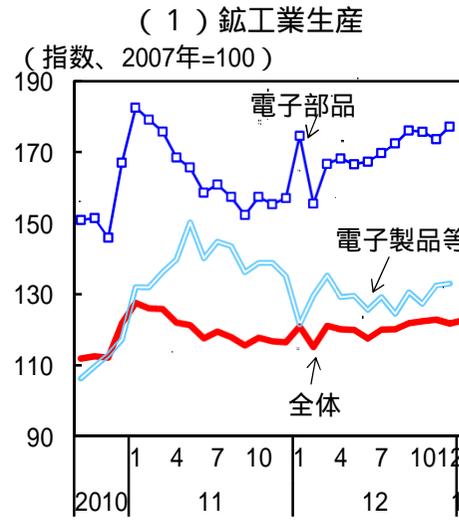
# 韓国、台湾：

韓国では、景気は足踏み状態となっている。台湾では、景気は持ち直している。

## 実質GDP成長率

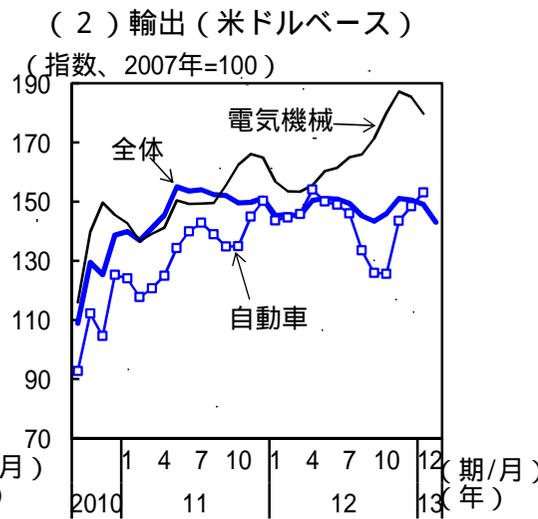
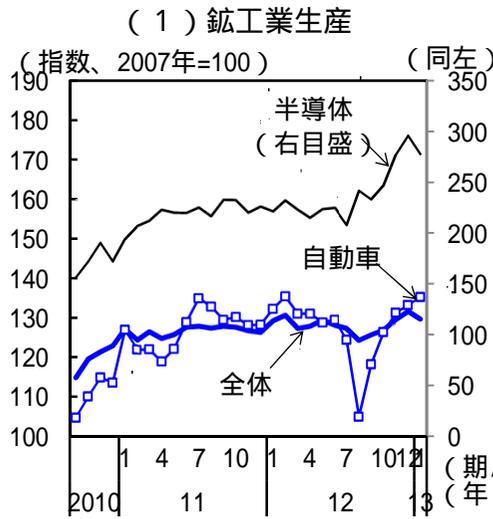


## 台湾：生産、輸出



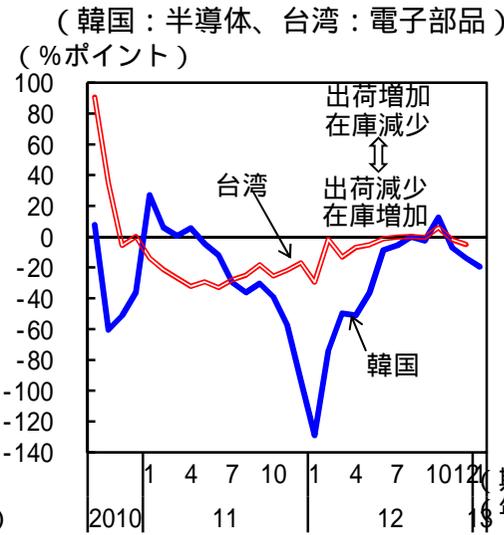
(備考) 輸出総額は季節調整値。輸出の電子部品、情報通信関連財及び光学用機器類は原数値の3か月移動平均値。

## 韓国：生産、輸出



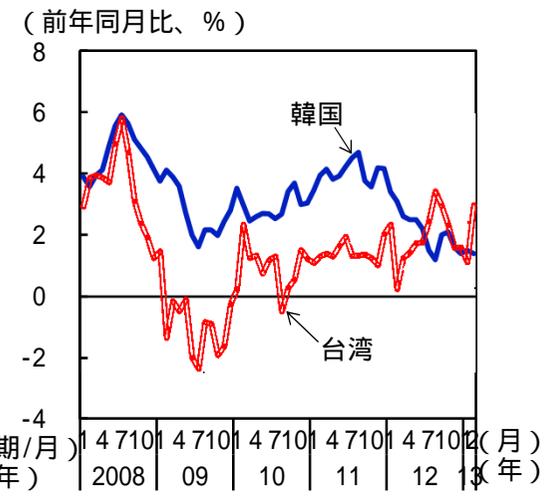
(備考) 輸出の指数は、原数値の3か月移動平均値。

## 出荷在庫ギャップ



(備考) 出荷在庫ギャップ = 出荷前年比 - 在庫前年比。

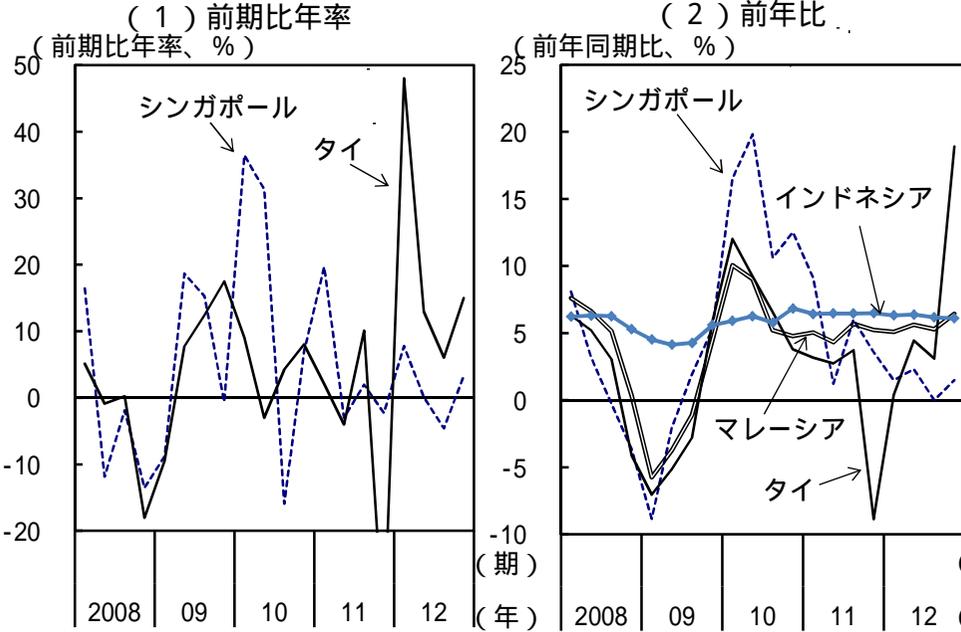
## 消費者物価上昇率



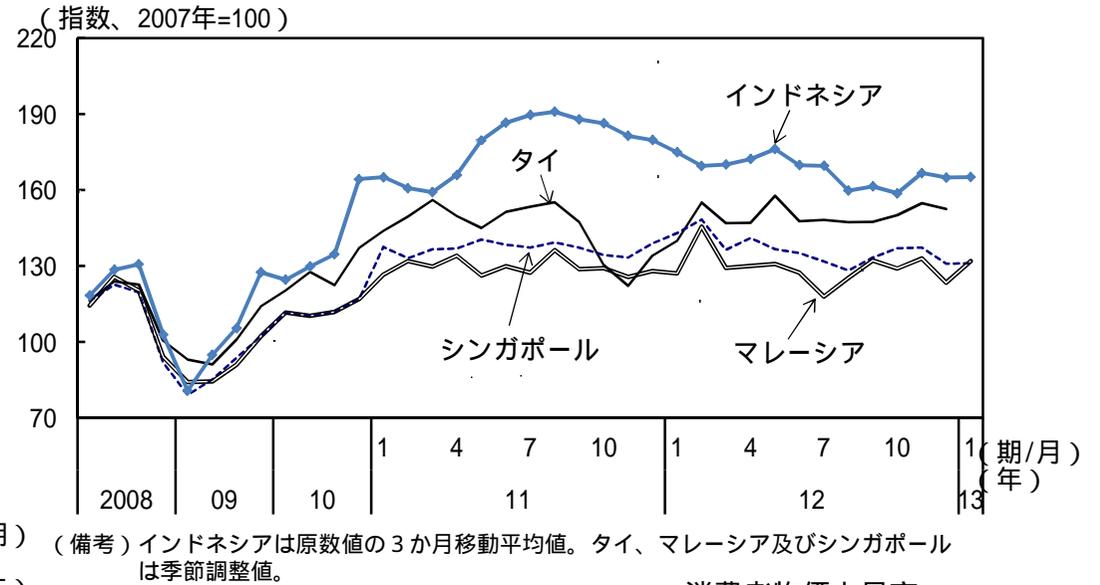
# ASEAN地域：

ASEAN地域（インドネシア、タイ、マレーシア及びシンガポール）では、内需を中心として、総じて持ち直しの動きがみられる。

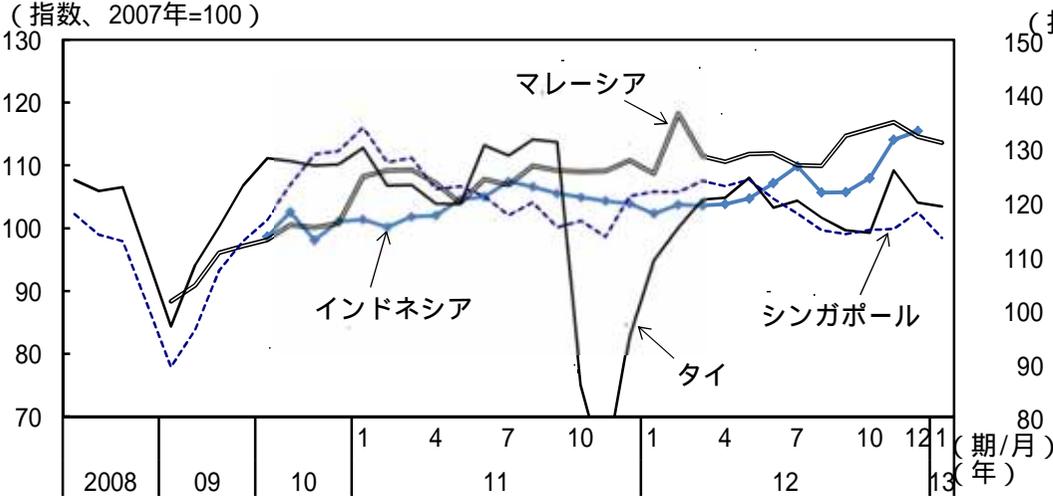
## 実質GDP成長率



## 輸出（米ドルベース）：おおむね横ばい

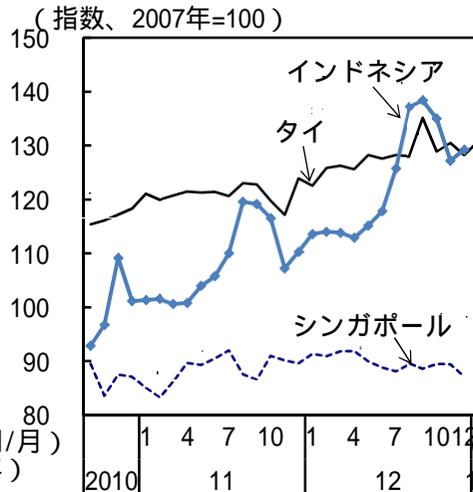


## 鉱工業生産：総じて持ち直しの動き



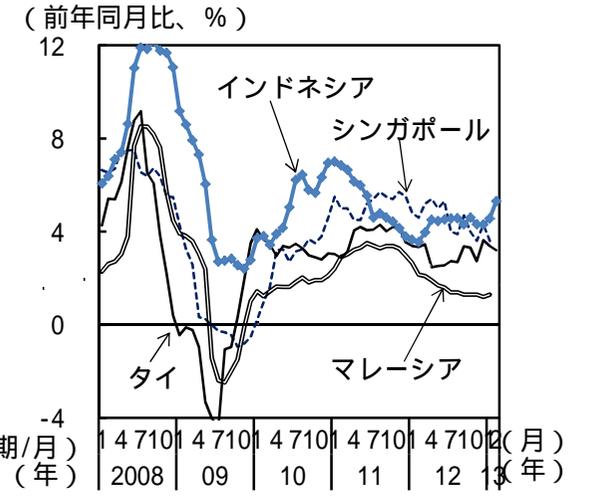
(備考) 1. インドネシア、タイ及びシンガポールは製造業の数値。ただし、シンガポールは振れが大きいバイオ・メディカルを除いたもの。  
2. インドネシアは原数値の3か月移動平均値（10年基準、10年以降のみ公表）。インドネシアを除く各国の数値は、季節調整値（マレーシアは05年基準、09年以降のみ公表）。

## 小売売上：総じて堅調



(備考) 1. タイは民間消費。  
2. インドネシアは原数値の3か月移動平均値（10年基準、10年以降のみ公表）。タイ、シンガポールの数値は季節調整値。

## 消費者物価上昇率：おおむね横ばい



# インド：

インドでは、景気は緩やかに減速している。

